



今月の内容

トルコの地震

こんにちは。田中です。
先月の報告書で何故か一部文字化けしていました。今月の報告書が文字化けしないことを願います。

今回は2月6日に起きたトルコ・シリア地震の影響などについて書きたいと思います。

≫トルコ・シリア地震発生時

2月6日にトルコ南部シリア国境付近、ガジアンテプで起きた地震。

私はこの時トルコにおらず、ヨーロッパを旅行していました。朝起きてスマホの通知がすごいことに気が付き、トルコで大きな地震が起きたことを知りました。あの時心配して連絡してくれた方々、ありがとうございました。

≫トルコ帰国後

トルコに帰国する前にイズミル経済大学から「地震により高等教育評議会(日本でいう文部科学省?)はトルコの大学の春学期の開始を遅らせることを決定した、学期開始の日時が分かり次第知らせる」というメールを貰いました。

そのためヨーロッパから戻った後は情報収集などしていました。またこの期間、寮に人がいないので色々のんびりしていました。洗濯機を使ったとき、壊れて脱水できず自分の洗濯物が3日間ほど漬物になるトラブルはありましたが。

私が滞在しているイズミルはトルコ西部に位置しているためこの地震で大学が崩れることはありませんでしたし、友人や知り合いも幸いなことに無事でした。しかし春休みで帰省し地震に合い、イズミル経済大学の学生さんが数名亡くなられたと聞いています。

亡くなられた方へご冥福をお祈りします。

数日後、友人のInstagramの投稿で今期はオンライン授業になると知り大学側に問い合わせをしましたが返信がありませんでした。大学のホームページで春学期の授業はすべてオンラインに、学期開始は1週間ほど遅れて2月末という記載を見つけることができました。

その数日後大学側から

- ①イズミルに滞在し授業を受ける
- ②自国に留まり授業を受ける
- ③留学を取りやめる

と3案が送られてきていました。

≫今後の考え方

オンライン授業となったため帰国するかどうか悩みましたがこちらにすることにしました。



折角トルコに滞在しているから...という考え

≫トルコについて思う事

と、つらつらと地震後の私が何を考えていたか、何が起きていたかを書いた後にトルコの地震の考え方などについて書こうかなと思います。

実は去年の11月ごろにトルコで地震が起きており、震源地の近くではなかったもののイズミルでも揺れを感じました。地震は午前3時ごろに起き、寮に滞在する多くの学生が外に出ているのに対して、当時2時半まで起きていて寝た瞬間に起こされた私は避難することなし！大丈夫！！と半ば怒りながら寝ました。

その後友人と地震の話をしたのですが、トルコでは地震があったら**まず建物の外に出ることが重要**ということを知りました。

これはトルコの建物が日本のような耐震性を持っておらずそのまま中にいるのが危険とのことで、日本感覚ではいけないのだと思いました。

中には建物から出ようと高層階から飛び降りて亡くなる方もいる、と日本と異なることに驚いたのを覚えています

今回の地震でぐしゃっと建物が崩れる現象が起きたと聞いてこのことを思い出しました。

イズミルに滞在できない、帰国などの指示があったらそれに従うという形です。

春学期の開始が遅れたことによる学期終了のズレについてはどれだけ遅れてもイカメットの有効期限までということにしました。(おそらく土日のどこかで補習があると聞いたのでズレはないと思います)

トルコの建築の耐震性基準は日本並みと定められているのですがそれだとコストがかかるため、耐震でない建物を建てることも可能だそうです。

また大きく被害が出た地域はシリアに近く、多くの難民がいるため脆弱な建物が多かったと思われます。これも被害拡大の理由なのではないかな～と考えてます。

そしてトルコ全土の大学の授業がオンラインと決められたことに対して被害地域の一部ではなく全土なのが政治的な意図があったりなかったりするのかなとちょっと思っています。なかなか会話をする機会がないため対面授業に変わるというのと願っています。



≫ オンライン授業

先月はずっと履修科目を増やすことを考えていたのですが、考えが変わって英語、日本語、トルコ語を継続してとることにしました。日本語は一つの学年だけでなく他の学年も参加したいと考えています。

授業はZOOMを使って行われています。一応学校側は授業中カメラを常時オンにしろと言われていたのですが誰も守っていないのでじゃあいいか！と私もオフにして参加しています。

やはりオンライン授業だと交流ができず、メッセージ等もトルコ語で読めなかったり、英語のタイピングが遅いなどのデメリットを感じます。

学校内に人も多くはいないため引きこもりのような感じになっていきます…。



≫ スペイン旅行

2月の初めにスペイン、バルセロナへ旅行に行きました。初めての一人旅で行く前に不安で行きたくなくなっていたのですが、元々行きなかった場所に行けたのと豚を食べた楽しい旅となりました。

イズミルからスペインに直接行けないのでドイツのフランクフルト経由で行きました。また乗り継ぎの関係で空港に泊まりました。物乞いやあやしい人もいたのであまり寝れませんでしたがこの経験で何とかなる精神が付いたと思います。

下はフランクフルトのトランジットで行ったレーマー広場。



スペインではガウディの建築や美術館、街並みを楽しみました。上の写真は私の好きなカサ・バトリョ。1日に200枚以上の写真を撮り、スマホの容量がすごいことになりました。サグラダファミリアは未完成でしたが迫力がすごかったです。

また一人で旅しているからなのかいろいろな人に話しかけられて一緒に観光地を回ることもしました。韓国やフランスの方などと自国や経済の話で盛り上がりました。彼らとのやり取りは英語でしたが、国によって癖があり、個人的にフランスの方の英語が聞き取りにくく面白いなあと感じました。



≫ イスタンブール旅行

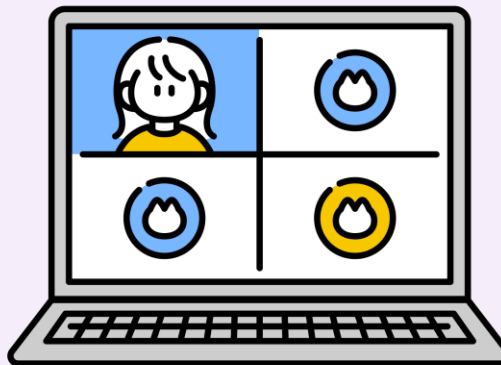
春学期の開始が遅れたため、何もせずにもったいないということでイスタンブールに2月末行ってきました。

イスタンブールはイズミルとは違った雰囲気があり、ジャーミー(集団礼拝をおこなうためのモスク)も大きかったです。それより驚いたのが人。観光地だからというのかもしれませんが、日本語を話す。人が何人かで見分ける能力が高いのです。ヨーロッパだけでなくイズミルでもそうですがたいていの人は日本人と韓国人、中国人が見分けられていないことが多いのに見分けられるのは多くの観光客が来ているんだなあと感じました。日本語を話さなくても英語が通じたのでストレスなくコミュニケーションをとることができました。出逢った人が自分が日本人と知ると地震の支援ありがとう、日本とトルコは仲よし！と言ってくれるのがうれしかったです。

ただ客引きがしつこいので初日はとても疲れました。よくトルコに行くなら絨毯屋に気をつけると聞きますが、確かにこの商売魂(別名しつこさともいう)から日本人は断るのが難しいだろうなあと勝手に納得していました。(下の写真はグランドバザール)

ブルーモスク(スルタンアフメトモスク)は改修中で見えることはできませんでしたがアヤソフィアやトプカプ宮殿が見れて満足でした。

短期間の旅行だったので少ししか見ることができなかったのもまた機会があればもう一度行きたいです。



以上で2月の月例報告でした。最近、数名の方からトルコ留学について質問をいただいております。興味のある方がいることがうれしいです。諸手続きは大変ですが、とても面白い国なので留学に興味がありましたら是非是非。